

日本遺産の認定について

概 要

文化庁は平成 2 7 年度に「日本遺産」を創設し、平成 3 2 年 (2020) の東京オリンピック・パラリンピックまでに、全国から 1 0 0 件程度認定する予定です。

出雲市は、「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」をテーマに平成 2 9 年 2 月 1 日付けで申請し、日本遺産審査委員会の審議を経て、このたび平成 2 9 年度の日本遺産に認定されることとなりました。

- これまでの全国の認定数 ()は島根県内の認定団体
平成 2 7 年度 1 8 件 (津和野町)
平成 2 8 年度 1 9 件 (雲南市+安来市+奥出雲町)
- 平成 2 9 年度の全国の認定数
認定数 1 7 件 (申請数 7 9 件) ※県内では出雲市のみ認定。

認定内容

タイトル：日が沈む聖地出雲 ～神が創り出した地の夕日を巡る～

概 要：島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった「稻佐の浜」と「日御碕」の名で親しまれ、そこから見る夕日は絶景です。しかしこの海岸線に、夕日にちなんだお社である「天日隅宮(あめのひすみのみや)」(出雲大社)と「日沉宮(ひしずみのみや)」(日御碕神社)が祀られていることはあまり知られていません。

古来、大和の北西にある出雲は、日が沈む聖地として認識されてきました。とりわけ、出雲の人々は夕日を神聖視して、畏敬の念を抱いていたと考えられます。

海に沈むこの地の美しい夕日は、日が沈む聖地出雲の祈りの歴史を語り継いでいます。

今後の予定

今後、認定されたストーリーを基に、日本遺産を広く国内外へ情報発信し、多くの観光客に訪れていただくため、日本遺産魅力発信事業を推進するための協議会を組織し、取組を進めていきます。

- 4 月 2 8 日 (金) 認定祝賀セレモニー【午後 3 時 市役所正面玄関東側】
- 5 月中 出雲市日本遺産魅力発信事業推進協議会 (仮称) 設立
日本遺産魅力発信推進事業交付申請
- 7 月 日本遺産魅力発信推進事業交付決定 (予定)
推進事業スタート